

5カ国教育関係者 歯磨き指導を見学

常滑・西浦南小

国際協力機構（JICA）の学校保健研修で、アジアやアフリカなどから来日中の教育関係者らが四日、常滑市西浦南小学校を訪れた。

研修は、日本独自の養護教諭制度をはじめ学校での保健教育を学ぶ機会として二〇〇六年に始まった。医師や教育担当の官僚ら七カ国の十一人が五月二十日に来日。一カ月半の滞在期間に講義や演習などで理解を深める。

この日は初の現場視

察で、中国、

エジプト、ガーナ、ネパール、南アフリカの六人が西浦南小へ。保健室などの施設を見た後、二年生親子の歯磨き教室に加わり、歯科衛生士が歯を磨く意味や注意点を分かり

やすく説明する様子を見学した＝写真。

ネパール教育省のクル・プラサド・カナルさん（四）は「子どもの反応に気を配る指導が印象に残った。自国の参考にしたい」と話した。授業の合間に、体育館で歓迎の交流会があり、子どもたちと盆踊りやゲームを楽しんだ。

